



発行：大野北地区社会福祉協議会  
〒252-0233 相模原市中央区  
鹿沼台 1-10-20  
(大野北まちづくりセンター内)  
電話：042-861-4512



役員改選に当たって

## 大野北地区社会福祉協議会

会長 山口 信郎



新年度に入り新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを取り戻しつつあり、法的位置づけが「5類」に移行し日本経済も徐々に回復の兆しを呈してきたようにも思われます。

大野北地区でも多くの団体が様々な取り組みやイベント開催の方向にあり、大野北地区社会福祉協議会の事業においても先日企画調整会議の席上、6部会長より徐々に対面でのボランティア活動が再開され、お互いの笑顔がいかに大切であるかを切実に感じ、活動の推進に向けた様々な取り組みを進めていくとの心強い報告を受けました。

特にコロナ禍で顕在化した社会的孤立や生活困窮等の地域生活課題の対応が非常に難しくなってきたており、その解決に向け、関係機関との連携を図りながら自立支援に取り組んでいくことが不可欠です。

創意工夫により積極的に取り組んでいただいている方々に心から感謝を申し上げますとともに、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(写真) 大野北地区社会福祉協議会役員、部会長及びまちづくりセカ-事務局員 (以下敬称略)

前列 (役員) 左より。監事 岡本誠、監事 鈴木京子、副会長 小野澤行雄、会長 山口信郎、副会長 小川紳夫、副会長 林知治、会計 望月規男、会計 田中邦一  
後列 (部会長、まちづくりセカ-) 左より。事務局 府川聡美、ボランティア部会 福地ゆき子、啓発部会 関一仁、思い愛ネットワーク部会 柿沼秀康、広報部会 大徳晃一、福祉コミュニティ部会 阿部賢治、まちづくりセカ-長 光岡淳、市社協地区担当 櫻井正孝、事務局 城田美穂、ふれあい交流部会 三好智子 (欠席)

# 大野北地区社会福祉協議会の活動と開催参加問い合わせ先

開催参加問い合わせ先は、ページ下の事務局又は公民館設置のチラシ等へ

対象者	活動名称	主な内容、他
0歳から 未就園児	「あつまれおやこ」	保育園の先生等を交え親子で遊ぶ、交流の場
	「親子スペース たけのこの家」	親子や親同士の交流の場
	「親子スペース つくしの家」	
中学生	「中学生ボランティア スクール」	ボランティア活動の手引き活動 各中学校へ参加の呼びかけ
高齢者	「はやぶさカフェ」	高齢者の交流の場
	「思い愛ネットワーク」	高齢者の見守り活動。参加希望者は各ネットワ ークまたは各自治会、民生委員へ連絡
参加自由	「ふれあいフェスタ」	地区社協の活動報告や交流の場。3/3 開催予定

## 「親子スペース つくしの家」開設（子育て中の親子への支援の輪が広がります）

「こどもまんなか社会」を国が掲げているなかで、大野北地区社協では子育て中の親子の集う場として、従来の「あつまれおやこ」（年6回）の他に、交流の場の立ち上げを広げています。

立ち上げにあたっては、公民館やこどもセンター周辺の地域には比較的交流の場があるので、少ない地域で開催すること、ボランティア、ママ同士が顔見知りとなるために同じ場所で定期的に行うことが話し合わせ、令和3年コロナ禍でしたが、嶽之内自治会館で「親子スペース たけのこの家」を立ち上げました。

『ここに来て相談できる人ができた。』『引っ越して間もないので病院を教えてください。』と、ママの実際の困った声を聞くことが出来ました。その話を聞いて、今年6月に淵野辺自治会館で「親子スペース つくしの家」を立ち上げました。

このような交流の場は、全国的にも子育て中の親子の孤独感や孤立感を解消するために大きな効果があると言われてはいますが、大野北地区社協でも、ボランティアの支えのもと、まずは、参加する親子にとって息抜きや「新しい友だちづくり」になる、そんな場になればと思っています。



## 大野北地区社会福祉協議会顕彰



（以下敬称略、左より）

- 懐メロ友の会会長 石川雅章（地区社協の活動に共鳴し寄付による地域への貢献）
- 宮崎幸恵（淵野辺本町、戦没者遺族会大野北支部女性部長としての活動）
- 舞原いく子（淵野辺、思い愛ネットワーク、子ども会会長などのボランティア活動）
- 長田秋人（上矢部、地域子どもの安全見守り隊として交通安全への多大な寄与）

## 車いすの貸出【費用は無料】

貸出期間：約1週間

※事前予約は下記

お問い合わせまで。



5月18日、大野北地区社会福祉協議会活動における永年の功績、貢献をたたえ、総会に先立ち表彰式を行い、山口会長より以下の4名の方に表彰状を贈呈いたしました。（敬称略）